

海部地域の農業情報(令和7年9月)

掲載日:2025年10月6日更新

レンコン栽培でドローンの活用が進む

と き 令和7年5月から7月

ところ 愛西市

愛西市のレンコン生産では、れんこん産地協議会が主体となり作業の省力化を目的として防除や追肥散布にドローンの活用が進んでいる。

防除については、5月21日に害虫のクワイクビレアブラムシ、6月18日に害虫のイネネクイハムシに対して、農業支援サービス事業体への委託によるドローンの農薬散布が実施された。

後継者の就農などにより委託から自前で作業した農家もあったため、全体の散布面積は昨年より減少したが、新たに散布を委託する農家も増えており、省力化への効果に対する評価は良好である。



レンコン田の上空を飛ばすドローン

追肥散布は、JA あいち海部が管内農家の希望者を取りまとめ、散布作業を農業支援サービス事業体に委託して延べ 8.2ha で実施された。散布ほ場の増加により昨年より移動時間は多く要したが、肥料の種類を統一したことで効率が向上し、作業時間は3分16秒／10aとなり、昨年より9秒短縮された。

農業改良普及課は、今後、生育や収量の調査を行い、粒状肥料散布を含め、ドローン活用に向けた支援を進める。